愛媛大学医学部支援基金

～未来の医療の芽を育むために～

ご寄付のお願い

EHIME UNIVERSITY
SCHOOL OF MEDICINE

愛媛大学医学部支援基金の目的及び使途

この基金を利用し、医学部の学生、研究者、医療従事者に優れた教育・研究・医療環境を提供し、医学医療の進歩に一層の貢献をしていきます。

目的・使途	
	医療人育成のための環境整備
	医学研究の支援
	先端医療の推進

ご寄付単位	
	■ 個人１口　1,000 円
	■ 法人１口　10,000 円

本基金の趣旨をご理解いただき、複数口を目安として、おいくらでもありがたくお受けいたします。
また、土地、建物によるご寄付、遺贈によるご寄付等をお考えの方は基金担当窓口へお問い合わせください。

基金を活用した取組事例とご支援への感謝の声を紹介します。

学生生活環境の改善

学生生活環境をより良くするため、予てから要望の強かったテニスコートの改修とゴルフ練習場の整備を行いました。
各サークルの学生らが参加して実施した開所式では、テープカットや始球式が行われ、学生を代表して、テニス部の和泉翔太さんから「日々の練習に励むとともに、文武両道を目指します！」と感謝と誓いの言葉がありました。本学は、西日本の医科学生が参加する西日本医科学生総合体育大会で、2017年に初めて総合優勝に輝き、2018年には準優勝を飾っています。

国際交流の推進

国際的な広い視野を持った医療人を育成するため、国際化推進支援事業を実施しており、医学科の学生4人が、中国の大連医科大学で臨床実習を行いました。
実習では、英語でコミュニケーションを図りながら、実際の回診やカンファレンスに参加したほか、外来や心臓カテーテルの治療現場を見学しました。参加した学生からは、「日本の医療現場との違いを体感することができ、現地の医師や同じ医学生と交流し、視野を広げることができた」といった声が聞かれました。

ご厚志に対する謝意

ご寄付いただいた皆様には、お礼状の送付をはじめ、ご芳名の愛媛大学医学部支援基金ホームページや広報誌等への掲載などによりご厚志に対する感謝の意を表し、末永く本学部の歴史に刻ませていただきます。

お願い

ご寄付いただいた方のご芳名を愛媛大学医学部支援基金ホームページ、広報誌等に掲載させていただく際に、匿名を希望される方は、寄付申込書の通信欄の□匿名希望欄にチェックをお願いします。

寄付金のお申し込み方法

1. 金融機関等にてお振り込みいただく場合

申込書を兼ねた専用の振込用紙をご利用ください。振込用紙は、医学部研究協力課または病院総合案内に設置しておりますので、その旨をお申し出ください。

2. 現金でご寄付いただく場合

医学部研究協力課または病院総合案内へお申し出ください。寄付申込書にご記入の上, ご寄付いただけます。

3. ホームページ内「寄付フォーム」からご寄付いただく場合

愛媛大学医学部支援基金ホームページにアクセスいただき、「寄付を申し込む」からご寄付いただけます。

愛媛大学医学部支援基金ホームページ　http://www.m.ehime-u.ac.jp/donation/

税法上の優遇措置

【個人からのご寄付】

2,000円を超える部分について、当該年所得の40％を限度に所得控除対象となります。別途お送りする寄付金領収書を、控除証明書としてご利用下さい。（確定申告によりお手続きください。）
所得税確定申告対象は1月1日から12月31日までの寄付金額となります。

所得合計額の40%または寄付金額のいずれか少ない方の額 － 2,000円 ＝ 寄付金控除額（所得控除）

【法人からのご寄付】

ご寄付は税務上、全額損金に算入可能です。
※所得税控除制度の詳細については、愛媛大学医学部支援基金ホームページでご確認ください。

【優遇措置を受ける手続き】

- ご入金確認後、「寄付金領収書」等とお礼状を送付させていただきます。お届けまでに２週間前後かかりますのでご了承ください。
- 本学が発行した「寄付金領収書」等は、税制上の優遇措置を受けるために必要です。確定申告まで大切に保管してください。
- 確定申告期間に、本学が発行した「寄付金領収書」等を添えて税務署に申告してください。住民税の寄付金税額控除のみを受ける場合は、お住まいの市区町村に申告をお願いいたします。

お問合せ先　愛媛大学医学部研究協力課 〒791-0295 愛媛県東温市志津川
TEL (089)960-5944　FAX (089)960-5961

愛媛大学医学部への ご支援のお願い

愛媛大学医学部長
山下 政克

愛媛大学医学部附属病院長
杉山 隆

愛媛大学医学部は、高度な医療の普及を目指して全国に設置された新設医学部の第一号として、1973年に設立されました。基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育・研究・医療」のもと、患者から学ぶ真摯な態度と教育・研究・医療の成果を患者に還元する優れた能力を併せ持った医療人の育成に努めています。これまでに医師と看護師を併せて5千名を超える人材を輩出しており、卒業生は今や全国各地で医学・医療のリーダーとして活躍するとともに、地域の医療を支えています。

一方、2004年に国立大学が法人化して以降、大学の財政は年々厳しくなってきております。優れた教育、研究、医療環境を構築するには、国からの補助金、学費収入、附属病院の医療収入だけでは十分ではありません。

そこで、この度、医療人育成のための環境整備、医学研究の支援、先端医療の推進等を目的とした「愛媛大学医学部支援基金」を創設しました。この基金を利用して、医学部の学生や研究者や医療従事者等に優れた教育・研究・医療環境を提供し、医学医療の進歩に一層の貢献をしていきたいと考えています。

皆様には、この趣旨を御理解いただき、基金への御寄付を心よりお願い申し上げます。

地域の医療を支えていきたい。

ハイブリッド手術室

看護学科における学内演習の様子

シミュレーターを使った実習

手術手技研修センターでの実習見学

手術ロボット「ダヴィンチ」

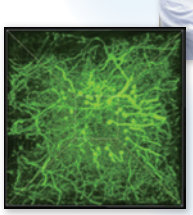
臨床実習に臨む5年生へ白衣を授与

図書館で試験勉強に励む学生

学生による論文が国際ジャーナルに掲載

手術手技トレーニング

医工連携研究による次世代人工関節の研究開発



大脳新皮質錐体細胞イメージング画像

医療人育成のための環境整備

【活用事例】
- 奨学支援、奨学金制度の設立と表彰等
- 海外派遣、研修、留学支援等
- 図書購入資金、学習資料の支援等
- 施設整備、実習実験機器の充実

医学研究の支援

【活用事例】
- 学部内競争的資金制度の設立と支援
- 基礎研究の支援等
  （学生対象事業「医科学研究」の支援等）
- 臨床研究センターの体制強化支援等

先端医療の推進

【活用事例】
- 先進医療の開発支援等
- 医療機器の新規導入及び更新等支援
- 新たな手術手技修得支援等
- 産学連携による医療機器開発等支援